



Code 2444.1 – playBasic Bundle OP I.1 (Open Headphones)

Code 2445.1 – playBasic Bundle CL I.1 (Closed Headphones)

playBasic

バイノーラル 再生ユニット

概要

playBasic Bundle

Code 2444.1 - playBasic Bundle OP I.1

Code 2445.1 - playBasic Bundle CL I.1

playBasic再生ユニットと、HD OP I.1またはHD CL I.1ヘッドフォンを組み合わせたバンドルで、聴感に忠実なバイノーラル再生が可能です。

playBasicバンドルを利用すれば、PC、スマートフォン、タブレット、またはリスニングスタジオでの試聴テストでも、手軽に聴感に忠実な再生が可能です。

playBasicは、弊社の他のバイノーラル再生システムと比べて、コスト効率が高く、持ち運びに便利なエントリーレベルのモデルです。playBasicはWindows PCIに直接USB-C接続できます。再生に加えて、PCを用いてファームウェアの更新、各種イコライゼーションの管理、リミッターの調整等も可能です。playBasicを別のデバイス（スマートフォンやタブレット等¹）にUSB-C接続すると、標準のUSB再生デバイスのように機能します。

操作はソフトウェアのみで行われます（例：HEAD Companion（バージョン3.3以降）、SQala（バージョン4.5以降）、Artemis SUITE（バージョン17.5以降））。playBasic バンドルは、HD OP I.1 開放型ヘッドフォンまたは HD CL I.1 密閉型ヘッドフォンとともに利用できます。

開放型ヘッドフォンモデルである HD OP I.1 は、静かなオフィスなど、外部の騒音がリスニングに影響しない環境での使用を想定しています。

HD CL I.1 密閉型ヘッドフォンは、外部の騒音をできるだけ遮断する必要がある環境、例えば複数の被験者が同じ場所を共有するリスニングスタジオ等での利用に推奨されます。

¹ iPhone、iPadと互換性あり

主なフィーチャー

ハンディーシステム

付属のヘッドホン用ヘッドホンコネクター

内蔵再生イコライゼーション

聴覚障害予防のハードウェアリミッター

自由音場 (FF)、拡散音場 (DF)、Independent of Direction (ID)、鼓膜基準点 (DRP)、線形 (LIN、イコライゼーションなし)、およびUser (USR、ユーザー定義) の再生イコライゼーションを再生ソフトウェアで制御可能

ヘッドホン用の機種別標準イコライゼーション

ダイレクトパスオーディオ出力

アプリケーション

聴感に忠実なバイノーラル再生

SQalaのための聴感に忠実な再生

ユニバーサルUSB再生デバイスとしての利用

詳 細

バイノーラル再生

対応する再生ソフトウェアと組み合わせることで、playBasicバンドルは手軽に聴感に忠実なバイノーラル再生ができる理想的なソリューションとなります。playBasic再生フロントエンドをWindowsPC、スマートフォン、またはタブレットにUSB接続するだけで、playBasicは自動的にオーディオデバイスとして認識されます。

付属のヘッドホンをplayBasicに接続し、再生ソフトウェアを使ってすぐに再生を開始できます。

ArtemiS SUITE、SQala、またはHEAD Companionのプレイヤーで再生が可能です。

各バンドルでは、付属ヘッドホン用の対応イコライゼーションフィルターが、playBasic再生フロントエンドにすでにインストールされています。

インターフェイス

- > 6.3 mm ヘッドホン端子、前面、対応ヘッドホン用、例：
HD OP I.1 または HD CL I.1
- > USB-C 接続

納品アイテム

- > playBasic (Code 2443)
バイノーラル再生ユニット
- > プレミアムヘッドホン
(選択したバンドルにより異なります。)
- » playBasic Bundle OP I.1 (Code 2444.1)
HD OP I.1 (Code 2511.1)
- » playBasic Bundle CL I.1 (Code 2445.1)
HD CL I.1 (Code 2512.1)
- > CUSB V.1 (Code 5474-1)
ケーブル USB-C to USB-C、再度スクリュー接続なし、1 m
- > マニュアル

オプションアクセサリー

- > CUSB V.xx (Code 5474-xx)
ケーブル USB-C to USB-C、サイドスクリュー接続なし、
利用可能長： 1 m; 1.5 m; 2 m
- > CUSB IX.1.5 (Code 9897-1.5)
ケーブル USB-A to USB-C、サイドスクリュー接続なし、
1.5 m



playBasic バンドル OP 1.I



playBasic バンドル CL 1.I

前面

Headphone Output



付属のヘッドホンをヘッドホン出力に接続すると、正しいイコライゼーションによる再生ができます。



利用可能なイコライゼーションは、自由音場（FF）、拡散音場（DF）、方向非依存（ID）、鼓膜参照点（DRP）、線形（LIN、イコライゼーションなし）、およびユーザー（USR、ユーザー定義）です。

対応するヘッドホンのシリアル番号は、機器の底面に記載されています。

LEDの色がヘッドホン接続、リミッターの作動、出力信号の過負荷を状態表示します。



背面



USB Port



USB-Cポートを利用して、playBasic上のデータを再生します。対応LEDが、電源の有無やエラー発生を知らせます。

再生と制御

ArtemiS SUITE (バージョン 17.5現在)

音振動解析ソフトウェアArtemiS SUITEで、リスニングやモニタリングの為の再生は、非常に使いやすく便利なプレーヤー（APR 000、APR フレームワークに含まれています）を通じて制御されます。Recorder（APR 040、Recorderが必要）で定義された励振信号の出力により、音響測定や解析に不可欠正確かつ高品質な音声出力が可能となります。

信号に録音時に使用されたイコライゼーションやダイナミックレンジの情報が含まれている場合、ArtemiS SUITE がこの情報を playBasic に転送し、イコライゼーションおよび再生レベルが自動で正しく設定されます。

SQala リスニングスタジオ (バージョン 4.5現在)

リスニングスタジオでは、使用されるすべての再生システムはSQala主観テストソフトウェアによって制御されます。SQalaはこれらのシステムを利用して、正確かつ高品質な音響再生を保証します。再生システムにより、SQalaはヘッドホン等のさまざまな音声出力デバイスと接続でき、再生がリスニングテストの特定要件を満たすようにします。

リスニングスタジオにおいて、SQalaはリスニングテストの計画、実行、評価を最適化する中心的な役割を果たします。このソフトウェアは、使いやすさを最大化しつつ、正確で信頼性の高い結果を提供するよう設計されています。

HEAD Companion (バージョン 3.3現在)

ライセンスフリーのHEAD Companionソフトウェアを利用すると、音響および測定データの管理と利用をサポートする様々な機能を実行できます。たとえば、HEAD Companionを利用すると、ファームウェアのアップデートができ、最新の機能や改善内容を利用できるようになります。また、このソフトウェアはHDFファイル（HEAD データファイル形式）のバイノーラルかつ聴感に忠実な再生をサポートしており、音響テストや解析に重要です。HEAD Companionは、リミッターの設定、イコライゼーションの設定、イコライゼーションフィルターの変更にも利用できます。

HEAD Companionは、音響ファイル管理用の簡単で無料のソリューションを必要とするユーザーに最適なツールです。一方、ArtemiS SUITE は、包括的な解析および編集機能を必要とするプロフェッショナルユーザー向けに設計されています。複雑な音響解析や特定の用途においては、ArtemiS SUITEが不可欠です。

HEADscape

HEADscapeは、ISO 12913-2に基づいてサウンドスケープ測定を解析・分類するためのソフトウェアソリューションであり、聴感に忠実な再生も可能です。

イコライゼーションフィルター

playBasicは次のイコライゼーションを提供します：自由音場（FF）、拡散音場（DF）、方向非依存（ID）、鼓膜参照点（DRP）、および線形（LIN、イコライゼーションなし）。

ユーザー定義のFIRフィルターもインストールできます。FIRフィルターを利用すると、特定の伝達関数を作成およびカスタマイズして、音響品質を最適化することができます。

ヘッドホン

HEAD acousticsは、聴感に忠実な再生のためのダイナミックヘッドフォンを提供しています。モデル固有の標準イコライゼーションはすでに playBasicで利用可能です。ヘッドフォンのシリアル番号は、デバイスの底面に記載されています。

Windows オーディオデバイスの利用

playBasicはWindowsのオーディオデバイスとして利用できます。この場合、playBasicは通常のサウンドカードのように動作するため、追加のサウンドカードは必要ありません。ただし、このモードでは聴感に忠実な再生は保証されません。

技術データ

一般

Data acquisition / data generation connections	1 x headphone output
Communication interfaces	1 x USB device
Supply connection	1 x USB-C
Supply voltage	5 V _{DC}
Reverse polarity protection	Yes
Maximum power consumption during operation	2.5 W
System sampling rate	44.1 kHz, 48 kHz
Max. sampling rate	48 kHz
Operating temperature	-20 °C – +60 °C, -4 °F – +140 °F
Storage temperature	-20 °C – +70 °C, -4 °F – +158 °F
Shock according to EN 60068-2-27	20 g (six axes)
Vibration according to EN 60068-2-6	4 g (5 Hz – 500 Hz)
Dimensions (W x H x D)	84 mm x 26 mm x 84 mm
Weight	175 g

通信インターフェイス

USB デバイス

Plug connector	1 x USB-C
Number of interfaces	1
USB specification	USB 2.0
Data rate (gross)	480 Mbit/s
Electric isolation	No

アナログ出力

ヘッドホン

Plug connector	1 x jack 6.3 mm
Number of channels	2
Output impedance	< 0.3 Ω
DC capable	Yes
Frequency range	0 Hz – 22 kHz
Frequency response 20 Hz..20 kHz re 1 kHz	< ±0.06 dB
Digital lowpass filter @ f_s = 48 kHz, proportional to f_s	24 kHz
S/N	> 118 dB(A)
THD+N at 1 kHz	< -94 dB
Crosstalk at 1 kHz	< -120 dB
Phase coherence	< 0.45°, 20 Hz – 20 kHz
Resolution	32 bits
Equalization	FF, DF, ID, DRP, LIN, USR (max. 512 taps)
Maximum voltage	10.5 V _p
Maximum level	17 dB(V) 116 dB _{SPL} (depending on the type of headphones)
Maximum output power per channel	0.44 W

HEAD acoustics® は登録商標です。

USB-C® は USB Implementers Forum, Inc. の登録商標です。

Windows® は Microsoft Corporation の登録商標です。

iPhone®、iPad® は Apple Inc. の登録商標です。



お問い合わせ

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134
横浜ビジネスパークウエストタワー 8F

電話 : 045-340-2236
Eメール : headjapan@head-acoustics.com
ウェブサイト : www.head-acoustics.com